

平成29年 呉市消防局管内の災害現況

火災

平成29年中の呉市消防局管内の火災件数は49件（23件減）となりました。火災による死者は2人（2人増）で、負傷者は1人（8人減）となっています。また、火災の損害額は約1億700万円（約2億2,800万円減）で、そのうち建物火災における損害額は、約1億600万円となっています。

一火災種別ごとの状況一

火災件数49件は、自治体消防発足（昭和23年3月）以来、平成26年の67件を大きく下回り、最も少ない件数となりました。火災種別ごとの増減を見てみると、建物火災は30件（13件減）、林野火災は2件（1件増）、車両火災は4件（9件減）、船舶火災1件（1件増）、その他の火災が12件（3件減）となっています。



一出火原因別状況一

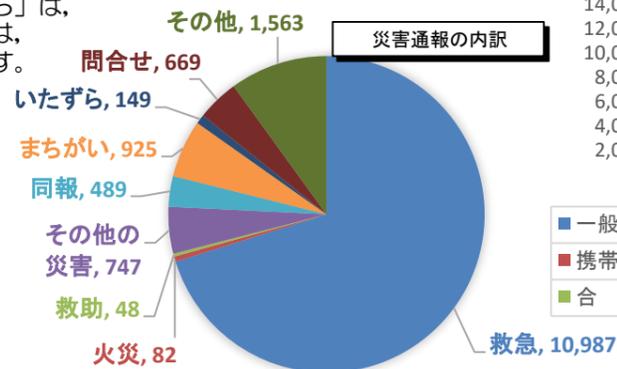
出火原因の第1位は「たばこ」で7件、第2位は「たき火」の6件、第3位は「放火」の4件となっています。また、建物火災30件の出火原因のうち、第1位は、同件数（4件）で、「たばこ」及び「放火」となっています。なお、出火原因の「たき火」は、毎年高い比率を占めています。「たき火」による火災を防ぐためにも、空気が乾燥しているときや風が強く吹いているときは、たき火を控えてください。また、実施する場合には、消防署に実施する場所と時間を届け出るとともに、必ず消火の準備をして行うようにしてください。

一住宅用火災警報器の効果一

火災出動するも、早い段階で消火して火災に至らなかった事案は26件で、そのうち14件が住宅等で発生し、14件中4件は住宅用火災警報器の鳴動により、早期に気付いたことから、火災に至りませんでした。住宅用火災警報器の効果により、火災に至らなかった件数比率は、年々増加している傾向にあります。

災害通報

呉市消防局が受信した119番などの災害通報は15,659件で、前年に比べ289件増加しており、1日平均約43件、市民の約15人に1人が通報したことになります。内訳としては、火災や救急に関する通報が最多で約71%、続いて、「まちがい・いたずら」は、約7%、「問合せ」は、約4%となっています。携帯電話からの通報は全体の約38%で、通報全体に占める比率は微増しています。



過去5年間の災害通報件数



救急

平成29年中の救急出動件数は11,209件（678件増）、また、搬送人員は10,142人（482人増）でした。これは、救急隊が1日当たり約31回、約47分に1回の割合で出動し、市民の約23人に1人が救急搬送されたこととなります。

注：()内は平成28年との比較

一事故種別出動件数一

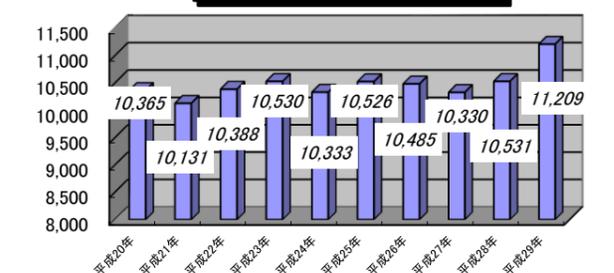
救急出動件数は、過去最高の件数となりました。（平成17年の10,911件を更新）原因は、呉市の高齢化率の上昇と考えられます。平成29年中の事故種別のうち、高い比率を占めたのは急病の6,919件で全体の約62%を占めています。次に、一般負傷が1,849件、続いて転院搬送が1,197件、交通事故が766件となっています。また、救急車による搬送人員は10,142人でした。この中で、高齢者（65歳以上）の方が、7,171人と、全体の約70.7%を占め、年々比率が高くなっています。

救急車の必要なケガや病気の中には、ほんの少しの注意や心がけで防げるものもあります。家庭内での転倒防止や普段からの健康管理に注意しましょう。

●救急出動・搬送人員（傷病者のみ）

区分	平成29年		平成28年	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
呉市	11,209	10,142	10,531	9,660

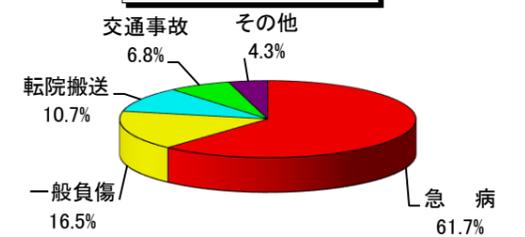
過去10年間の救急出動件数の推移



●事故種別出動件数状況

事故種別	平成29年		平成28年	
	出動件数	比率	出動件数	比率
急病	6,919	61.7%	6,414	60.9%
一般負傷	1,849	16.5%	1,722	16.4%
転院搬送	1,197	10.7%	1,237	11.7%
交通事故	766	6.8%	805	7.6%
その他	478	4.3%	353	3.4%
合計	11,209	100.0%	10,531	100.0%

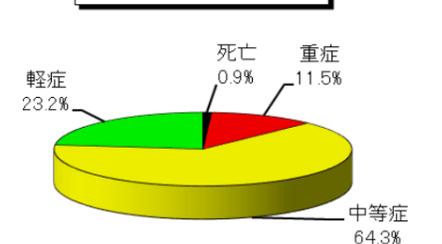
事故種別出動件数状況



●傷病程度別搬送人員状況

傷病程度	平成29年		平成28年	
	搬送人員	比率	搬送人員	比率
死亡	94	0.9%	81	0.8%
重症	1,171	11.5%	1,054	10.9%
中等症	6,524	64.3%	6,075	62.9%
軽症	2,352	23.2%	2,448	25.3%
その他	1	0.0%	2	0.0%
合計	10,142	100.0%	9,660	100.0%

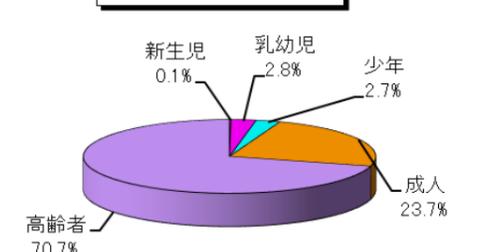
傷病程度別搬送人員状況



●年齢区分別搬送人員状況

年齢区分	平成29年		平成28年	
	搬送人員	比率	搬送人員	比率
新生児	15	0.1%	14	0.1%
乳幼児	282	2.8%	287	3.0%
少年	272	2.7%	256	2.7%
成人	2,402	23.7%	2,430	25.2%
高齢者	7,171	70.7%	6,673	69.1%
合計	10,142	100.0%	9,660	100.0%

年齢区分別搬送人員状況



※ 比率については、四捨五入のため合計が必ずしも100%になりません。